

清須市第2次総合計画 実施計画のイメージ

実施計画の位置付け

基本計画で定める施策の方向性に即して、具体的な事務事業を着実に実施していくため、毎年度の予算編成と連動させながら、その進捗を適切に管理する計画
～「第2次総合計画 序論（案）」抜粋～

実施計画のポイント

- 活動指標の設定による事務事業の目標管理
- 事業費の見込みや事業計画の公表による事業進捗の透明性確保（情報発信）
- 実施計画掲載事業を対象とした事務事業評価の実施

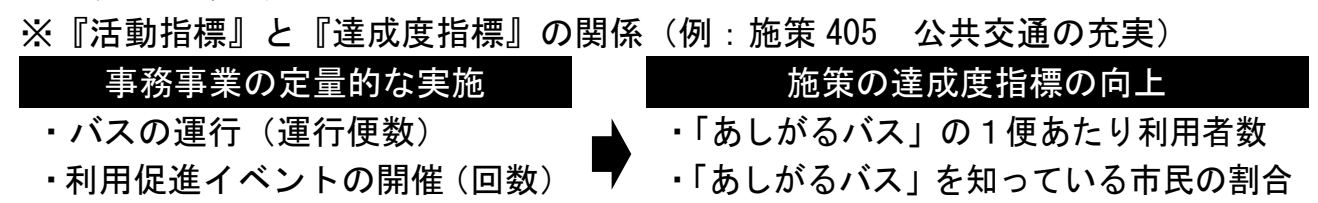
清須市第2次総合計画 実施計画（2017-2019）

政策名	4	便利で快適に暮らせるまちをつくる			
施策名	405	公共交通の充実			
施策の展開	1	コミュニティバスの運行			
事業名	コミュニティバス運行費	事業の方向性		継続	
事業目的	コミュニティバス（きよすあしがるバス）を運行することにより、市民が各種公共施設などを利用するための交通手段を確保するとともに、高齢者や主婦層などの日中における市内移動の利便性を高める。				
活動指標①	バス運行便数（単位：便／日）				
	2016年度【見込み】 （平成28年度）	2017年度 （平成29年度）	2018年度 （平成30年度）	2019年度 （平成31年度）	
[目標]	26	26	26	26	
活動指標②	利用促進イベントの開催回数（単位：回）				
	2016年度【見込み】 （平成28年度）	2017年度 （平成29年度）	2018年度 （平成30年度）	2019年度 （平成31年度）	
[目標]	3	4	4	5	
事業費 （単位：千円）	2016年度【最終予算】 （平成28年度）	2017年度【当初予算】 （平成29年度）	2018年度 （平成30年度）	2019年度 （平成31年度）	
	41,328	40,756	40,756	40,756	
国庫支出金	572				
県支出金					
市債					
その他	168	168	168	168	
一般財源	40,588	40,588	40,588	40,588	
事業計画	2016年度【見込み】 （平成28年度）	2017年度 （平成29年度）	2018年度 （平成30年度）	2019年度 （平成31年度）	
	コミュニティバスの運行	→ → →	→ → →	→ → →	
		ルート・ダイヤ改正の検討・実施	→ → →	→ → →	
	利用促進策の推進	→ → →	→ → →	→ → →	
	公共交通に関する意識調査				
		運行事業者の選定			
				地域公共交通網形成計画の改定	

■第2次総合計画（基本計画）で掲げる施策ごとの「施策の展開」に即して、具体的な事務事業（予算事業）を整理し、事務事業単位で実施計画を作成
（1施策あたり2から3事業程度を目安として、全100事業程度を予定）

■事務事業の今後の方向性を記載（新規・拡充・継続・縮小 等）

■事務事業実施の定量的な目標となる『活動指標』を設定
■施策の『達成度指標』は、施策の「目指す姿」にどこまで近づけているかを測るための指標であり、原則として実現すべき成果に係る数値目標（アウトカム）であるのに対し、『活動指標』は行政活動そのものの結果に係る数値目標（アウトプット）として、両指標の関係を整理



■毎年度、『事務事業評価』において、活動指標の目標値に対する実績値を整理し、決算の状況も踏まえながら、事務事業の必要性・効率性、施策への寄与度を検証
※事務事業評価の結果と達成度指標を踏まえた『施策評価』によって、施策の今後の方向性を整理し、事務事業単位の見直し・改善に係るPDCAサイクルを構築

■計画初年度の当初予算を基礎（※）として、計画期間中の事業費の見込みを記載（当該事業費の見込みを勘案して、「財政中期試算」を作成・公表）
※毎年度、当初予算編成作業とあわせて実施計画を策定・公表（年度末予定）

■計画期間中の事務事業の進捗に関わる重要な事項を、市民への情報発信の観点も踏まえて記載